



こうか
まちかど特派員

まつもと み え こ
松本美恵子



気軽に参加できる憩いの場で 楽しいひととき

楽しく、気軽に参加できる「地域の居場所」ふれあいサロン。身近な場所で、昼食やおやつをいただきながらレクリエーションやゲーム、健康体操、おしゃべりなどを自由に楽しめるサロンです。6月11日に信楽町長野地域で行われた「ふれあいいきいきサロン」を紹介します。

この日は同地域の二本丸会館で行われ、おおむね75歳以上の方21名が参加、私もスタッフで参加しました。

会場では、和室に長テーブルを組み、座布団が並べられ、その上にはたくさんのお菓子がずらり。熱いほうじ茶を飲みながらまずは参加者の自己紹介。手芸・旅行・野菜づくり・詩吟・俳句など皆さん趣味は多彩です。男性2人はニコニコと自分のことを語ってくださいました。笑い声が途切れることなくいつの間にか和気あいあい。お洒落で明るい人が多いのに驚かされるスタッフ。逆にスタッフが元気付けられます。

みんなで歌曲集を広げて「茶



▲楽しいおしゃべりのひととき

摘みのうた」「青い山脈」など合唱、最後は「琵琶湖周航の歌」を大きな声で歌いました。私も久しぶりに大きな声を出した気がします。そして楽しい2時間はあっという間に過ぎてしまいました。



笑顔がいっぱいの参加者の皆さん

参加者の顔を見ていると、お話がもっとしたかったようです。時間が足りないくらいでした。サロンには「友達がいらない」「歩いていくのが大変」などの理由で参加されていない方もおられると思いますが、相談していただければお迎えにもいきます。

「まだそんな歳ではない」「畑仕事で忙しいから」という方、何歳でも友達を作ることは良い事だと思えます。また、一日2時間ほどクワやカマを休ませ、憩いの時間を過ごしてみたいかがでしょうか。



このサロンのスタッフである福祉推進員は各区長からの推薦により社会福祉協議会会長から委嘱されます。信楽地域では6つのブロックで、91名の推進員が2年間活動します。ふれあいサロンは住み慣れた地域でいつでも元気で暮らせるため、みんなが支えあうまちづくりをめざしているものです。これからみんなが寄りやすくつろげ、楽しいひとときを過ごせる場として続いていけばと思います。